

1

PCミニボイスドラマ+ピンナップイラスト

3 PCによる戦闘系脚本。ただし最後はギャグ

ミラー「貫手！」
つらぬきて

(SE 風を切り裂く音)

カガミ「っ、く！ 卑怯だぞ、力を使うなんて！」

ミラー「戦闘に卑怯もなにもないでしょう。そんな甘い事を言っているから傷付くんですよ。もう一発行きますよ、避けなさい！」

カガミ「——ち、つくしょー!! 転移ッ！」

(SE ヒュンっという移動音)

ミラー「おっと今回は避けましたね」

フィギュア「止めて、ミラー！ こんな事をして何もならないわ！ もっと他に良い方法があるはずよ！」

ミラー「フィギュア……それでも僕は彼が許せない。(怒り込め、声色低く) 君を傷付けたカガミを、ね」

カガミ「はあ、はあ……くっそ。やっぱりミラーは強い、よな」

ミラー「一応この中じゃ一番年上だからね。その分経験値も高いって事だよ」

カガミ「(ぼそりと)ジジイって事だろ」

ミラー「貫手!^{つらぬきて}」

(SE 風を切り裂く音)

カガミ「ぎやあああつ!! う……つく……。 (攻撃喰らい苦しむ)
」

フィギュア「ミラー! お願いよ、もう止めて……見てられない
わ……。 (次第に弱々しくか細い声へ)」

ミラー「それでも僕は許せないよ。カガミ、さあ——謝るなら今
のうちだよ」

カガミ「(苦しげだけど気丈に) げほ、げほ……くっそ。口ん中、
血の味がしやがる……。 だけど、こっちだってやられっ
ぱなしじゃないんだからな! 烈破!!^{れっぱ}」

(SE 衝撃波的な音)

ミラー「おっと、危ないなあ。まだそんな力が残っていたとはね。
それなりにやるじゃないか。カガミ」

フィギュア「ミラー! 止めて! 今すぐに止めないと—— (凜
とした声で) あたしが相手になるわ」

ミラー・カガミ「フィギュア!?(二人の声が重なる)

フィギュア「(静かに怒りを溜めて) いい加減にしないと……分

かってるでしょう。二人が争いあってももう失ったものは戻ってこないのよ。それでもまだ戦い続けるって言ったら……」

ミラー「(ころつと態度を変えて) 分かった。止めよう、カガミ」

カガミ「ちよ、切り替え早っ！」

(SE すてんつとこける音)

ミラー「僕だって無駄に力を使うのは疲れるしね。今日のところは見逃してあげるけど、次は容赦しないよ」

フィギュア「(声色明るく) 分かってくれて嬉しいわ、ミラー」

ミラー「フィギュアと戦う事なんて出来ないし、失ったものは返ってこないっていう言葉は正しいからね。(やや間を空けてから) —— じゃあ、今回はこの辺で失礼するよ。カガミ、君は二度と悪戯をするんじゃないよ」

フィギュア「さよなら、カガミ。またいつもの場所で逢いましょう」

(SE ひゅんつと転移音)

やや間

カガミ「ちくしょう。……もう、二度と……二度とフィギュアの菓子をつまみ食いなんでするもんかー!! (理不尽さを感じ叫び)」

(SE かー……かー……とエコー&フェードアウト)